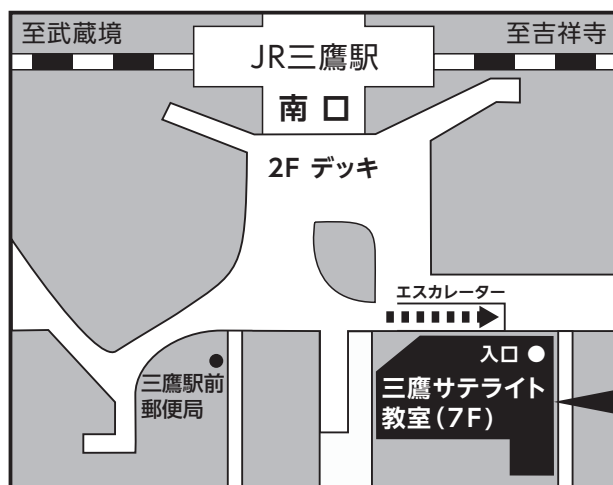


日本書紀講釈 — 人皇卷 —

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	_____				
講座概要	曜 日	木曜日			日 程 7月13・27日 8月10・31日 9月28日
	時 間	13:00～14:30			
	回 数	全5回	定 員	40名	
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講 師	東海大学教授 志水 義夫 (しみず よしお)				
	東海大学文学部教授。博士(文学)。東海大学文学部北欧文学科から東海大学大学院に進んで万葉学者櫻井満に『古事記』『万葉集』を学ぶ。研究テーマは『古事記』の成立。現在は『日本書紀』受容史を研究中。古事記学会や上代文学会、歌舞伎学会で理事をつとめる。著書に『上代文学への招待』(共著 ベリかん社)、『古事記生成の研究』(おうふう)、『古事記の仕組み』(新典社新書37)。論文に「日本書紀研究序説」(青木周平先生追悼『古代文学論叢』)、「古事記とKALEVALA」(大学書林『小泉保教授傘寿記念論文集 言外と言内の交流分野』)、「古典文学末流考—アニメ『機動戦艦ナデシコ』の技法—」(嘉悦女子大学紀要『研究紀要』第94輯)、「弁慶の飛六法」(東海大学日本文学会『湘南文学』第42号)などがある。				
内 容	古代王朝の作った日本の歴史、『日本書紀』。神々による国土の創世から始まり、全30巻にわたって日本という国家の成立を描きます。奈良時代の養老四年(720年)に完成した後、聖武天皇や嵯峨天皇、陽成天皇、村上天皇などに対して講釈が行われ、古代から“日本の歴史”として読み継がれた日本書紀を現在読む人はそう多くはありません。 そこには過去の「不幸な歴史」があったかもしれませんが、江戸時代までの市民の常識としての歴史がそこに書かれていました。古代の人たちが描いた日本の歴史、一千年にわたって読み継がれた日本の歴史をたどってみましょう。 感染症対策で実施できなかったシーズンの復活です。				
	① 7月13日:日本書紀の1300年 ② 7月27日:日本書紀巻十一 — 仁徳天皇巻講読 ③ 8月10日:日本書紀巻十一 — 仁徳天皇巻講読 ④ 8月31日:日本書紀巻十一 — 仁徳天皇巻講読 ⑤ 9月28日:日本書紀巻十一 — 仁徳天皇巻講読				



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。